

教育施設集約化事業についてお知らせします

芸西村では、建設からかなりの年数が経過した教育施設の建て替えを計画しています。建て替えの際には、保育所、幼稚園、小学校、中学校を一箇所に集約し、現在の小学校・幼稚園敷地に用地を買い足して整備することとしています。集約化する理由、場所の選定、今後の取り組みについては以下のとおりです。

《集約化する理由》

今後、子どもの数が減少していく中で、それぞれの施設を別々に建替えていく事は財政面や運営面での大きな課題があります。

現在の教育現場では教科担任制による小中の連携が必要となっている事、幼小連携による「小1プロブレム」※問題の解消、さらに幼児教育と保育を一体的に進める認定子ども園への移行により、地域の子育て支援や子育て相談の充実を図る事もでき、幅広い年代が交流できる教育施設の集約化は子ども達の健やかな成長にも大きく寄与するものと考えられるため、集約化するものです。

※「小1プロブレム」教師の話を聞かない、指示通りに行動しない、勝手に授業中に教室の中を立ち歩いたり教室から出て行ったりするなど、授業が成立しない状態



コミュニティ・スクール推進委員会



《場所の選定について》

平成 30 年 12 月から役場中堅職員で組織するプロジェクトチームが5回の検討会で候補地の比較検討を行い、複数の候補地から敷地面積※、接続道路、村全域での位置関係、防災面を考慮し、現小学校・幼稚園敷地に建設することが答申されました。その後、集約化検討委員会で基本構想を作成し、実際にこの敷地に建設可能かのシュミレーションを行い、幼稚園南側の民有地を含めた約 22,000 m²に建設することが答申されました。

※文部科学省規定では、認定こども園＋小学校＋中学校の用地面積は合計 16,600 m²。これを最小限度の用地面積としました。

村内の平野部の大部分が圃場整備された優良農地、あるいは住宅地であり、集約化に必要な敷地面積を確保できる土地がない事や、想定される最大クラス、いわゆるL2クラスの津波ハザードマップでも津波浸水想定区域外である事、また幹線道路沿いで村の中心部にあり、それぞれの集落からの距離も偏って

おらず、通園・通学の公平性も確保されています。

津波や洪水等の被害に対する安全性だけを考慮すると、山を切り開いた高い場所に土地を造成して建設する案も想定されますが、現実的には多くの課題が発生します。

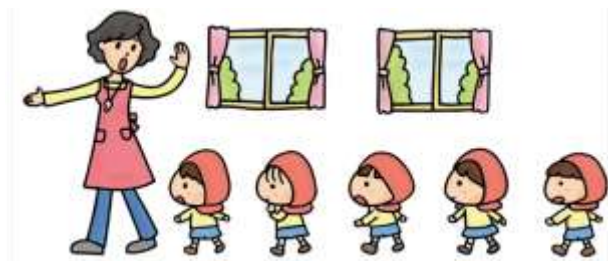
20,000 m²を超える土地の大規模な造成やアクセス道路の整備、上下水道の新設等が新たに必要となる事や、それに伴う膨大な費用が必要となります。(25 度傾斜地造成費約 6 万円/m²/高知県 R6/国税庁資料より)(土地造成: 6 万円×30,000 m²=18 億円)

工事に当たっては、発生する残土や濁水の処理、また広大な敷地の新たな排水経路の問題など周辺環境に与える影響への対応、施設建設後も山を切り開いた部分の土砂災害の危険性や、以後、継続する通学における児童・生徒への大きな負担など多くの課題があります。

また、それ以外でも候補となるいずれの場所においても、実現に向けては様々な課題があり、それぞれ、メリット、デメリットがあります。そういった点を考慮した総合的な判断により現在の小学校・幼稚園敷地での集約化の計画を進めることになりました。

《防災教育》

懸念される津波や水害等への対策としては、敷地や建物の構造でとれる対策に加え、想定外の被災も可能性がゼロではない事から、災害に備える防災学習や避難訓練を義務教育期間中、繰り返し実施する事で子ども達の防災意識の向上を図り、災害発生時に迅速に屋上等の安全な場所へ避難する習慣の習得を図ります。



津波や水害を心配される声があると思いますが、そのマイナスの要素を子ども達の防災意識の向上という形でプラスの要素に変えて、学校以外で過ごす日々の時間や卒業後の生活も含めて、防災意識を高め、地震等の被害の軽減につなげていければと考えています。

《R6 年度基本計画案：参考用》

次頁のイメージ図は R4 年度より集約化検討委員会で調整を進めてきた計画案の整備イメージ図ですが、今後のワークショップでの協議により建物の配置等も大きく変更となる可能性があります。



口上空真上から



◆区庁館前の2階テラスからこども園2階の遊戯室を見る



◆こども園遊戯室から、外部のテラス～小学校舎を見る



◆こども園の園庭からこども園舎(左手)と小学校舎(右手)を見る

《今後の取り組み》

現在、校舎の配置等も含め、想定される様々な課題や問題点について意見を出してもらい、その解決策や対処法についても専門家の技術支援をいただくために、保護者や関係者、一般住民等による協議の場を設け検討を始めたところです。その協議の場において、協議がまとまり、課題解決への道筋や目指す施設の概要が明確になれば、基本設計の業務に進む予定としています。

芸西村の未来を担う子どもたちが今後、何十年と使う大切な施設ですので、十分議論を深めて進めていきたいと考えています。そのひとつとして、今年度は公募住民も加わり、ワークショップ形式による計画案の見直しを行っています。

■第1回目を開催しました

- 日時:2025年5月29日(木) 19:00-21:00
- 場所:芸西村生涯学習館 2階学習室
- 参加人数:21名



《R7 芸西村教育施設等集約化検討委員》

中学校長	田村 康忠	中学校 PTA	山本 奈美	民生児童委員	岩宗 輝
小学校長	近藤 理恵	小学校 PTA	岡村 璃沙	教育委員	藤戸 由香
幼稚園長	臼杵 若奈	幼稚園 PTA	山内 孝文	教育長	山内 將利
保育所長	松田 都	保育所保護者会	公文 麻美	高知県建設技術公社 (オブザーバー)	吉岡 隆一

【ワーキンググループ構成員】

所 属	役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名
保育所	副所長	三谷聡幸	小学校	保 護 者	岡村璃沙	その他	一般公募	中山麻紀
	保 護 者	和田有生		保 護 者	都築 麗		一般公募	公文基嗣
	保 護 者	國澤阿希		保 護 者	中山美里		一般公募	大井規史
幼稚園	副 園 長	山地 光	中学校	教 頭	竹本佳奈		一般公募	岡村啓菜
	保 護 者	松本哲郎		保 護 者	岡林 唯		一般公募	松本容子
	保 護 者	佐藤奈々	その他	教育委員	藤戸由香		一般公募	里見佳子
	保 護 者	小原真貴		教育委員	吉永ゆかり			
小学校	教 頭	中村啓子		民生児童委員	岩宗 輝			

第 2 回教育施設集約化事業説明会を開催します

日 時：令和 7 年 9 月 2 8 日（日） 1 3 時 3 0 分から

場 所：芸西村民会館ホール